

拠点形成研究交流報告：神戸大学（国内協力機関） 大澤 朗 教授 大学院特別講義

神戸大学の^{大澤 朗}教授が、昨年度に続きご来学(12月12-13日)され、大学院特別講義を行って頂きました。また、拠点形成事業における参画研究者との共同研究に関する学術交流を行うと共に、腸内細菌学の視点から貴重なお話を頂き、様々なアドバイスも頂きました。

大澤先生は、食品の腸内細菌を介する生理機能性を評価することが可能な「Kobe University Human Intestinal Model(KUHIM)」と命名されたヒト腸管モデルを開発しております。本評価系は、海外のモデルに比べ腸内環境の再現度が高いモデルとして注目され、食品の生理機能性に関する動物実験に代わる評価ツールとして大いに期待され、既に多くの共同研究の実績を有しております。現在、CFAI畜産免疫ユニットでは、大澤先生との共同で、本評価系を基礎とした産業動物における腸内細菌モデル培養系への応用を推進しており、今後の益々の発展が大いに期待されます。

今回の講義では、コアラにおける腸内細菌研究の経緯と実績についてお話し頂き、腸内細菌研究の将来性と今後の展開について、特に産業動物から食品への応用研究に関わる貴重なお話を聞くことができ大変勉強になりました。大澤先生に改めて感謝申し上げますと共に、御援助頂きました拠点形成事業にも感謝申し上げます。

講義内容

生物資源利用科学 Osawa Lecture

草食動物にみる腸内細菌との共生
Symbiosis of Herbivores and Microbes



神戸大学 大学院農学研究科 (Kobe Uni.)
東北大学農学研究科 客員教授

大澤 朗 (Ro Osawa)

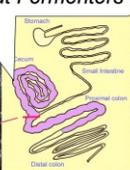
Adaptive Strategy of Koalas

行動的適応
Behavioral

形態・
構造的適応
Morphological

生理的適応
Physiological
(Symbiosis)

Hindgut Fermenters



神戸大で開発されたKUHIM

